



あけましておめでとうございます



<2018年1週> いつもアンケート回答にご協力ありがとうございます。
今年はやさいBOX 生産者の皆さんの新年のご挨拶コメントを掲載させていただきます。

■肥後あゆみの会

1980年就農し、早いもので37年。長男も就農し、仲間と作り上げてきた肥後あゆみの会生産者は5名から新規就農者を含め10名となりました。1985年、生協の皆さんとの縁を頂き、農業者としての役割と責任をこの間考えてきました。豊かで便利な環境が日本には整っていますが、本当に健康になる食材が少ないのではないかと本物を生産できる農家組織作りにもこれからも切磋琢磨して肥後あゆみの会一同、努力しますので今後共々よろしくお願いいたします。(澤村輝彦)

■肥後れんこんの里

いつも野菜BOXの野菜を購入頂きありがとうございます。比較的、好意的な感想が多く嬉しく思います。また、厳しい意見があるときは、何が原因なのか突き止め改善に努めています。近年は、異常気象等で野菜作りも難しくなっているとあります。昨年、母が他界しましたが、母の言葉で心に残っている言葉があります。「感の農業をしないさい」マニュアルに沿った農業ではなく、野菜を観察し、天候等肌で感じながら皆様に喜ばれる野菜作りをこれからも続けていきます。今後とも御支援宜しくお願い致します。(桐木尚子)

■伊賀有機農産供給センター

在るがママの自然を受け入れて、多様な命と共に生きる世界目指し。私たちの命育む畑から、マチへ、暴風や豪雨にさらされ鍛えられた食べ物の野菜として、自然をお届けしたい。自然のなかへ。(松井佳昭)

■望月農園

2017年(まだまだ力不足ですみません)大変お世話になりました。2018年貝割れ大根、トマト、葉物栽培に精一杯より一層がんばります。よろしくお願いいたします。(望月祐一)

■島原自然塾

新年あけましておめでとうございます。旧年中は、島原自然塾の野菜をご愛顧いただきありがとうございました。2018年が始まりました。今年も生活クラブ関西の会員の皆様に、こだわりの土づくりで育ったとれたて新鮮な野菜をたくさん食べていただけるよう、私たち島原自然塾生産者一同、畑に出て野菜作りに励んでまいります。これからも皆様に喜んでいただける安心・安全なおいしい野菜をお届けできるよう頑張りますのでよろしくお願い致します。(上野好子)

■山本農園グループ

やさいBOXではインゲン、ブロッコリー等でお世話になっています。ブロッコリーに取り組んで練習1年を含めて5年目となりました。3年目からは、若手のホープ大野君が取り組み始め、二人で喧々諤々“楽しく”栽培しています。でも、色々あります。“楽しく”の意味は、作り続けるという事です。「8月下旬に種まきし、害虫との闘い」、「10月中旬に定植し、害虫との闘い」、「大雨で根が枯れて全滅」、「カラスに定植した苗を取られたり」と楽しい日々を経験しました。毎年、前年の経験を元にああしよう、こうしようと、取り組むのですが、新たな壁が…と言う感じです。なお、ブロッコリーは1月中旬から出荷予定ですので宜しくお願いします。追伸：ブロッコリーの茎も必ずご賞味下さい。(山本康雄)

■水の子

明けましておめでとうございます。今年も水の子会では、おいしく、安全な野菜をたくさん生産して、皆様の食卓にお届けします。自然災害、異常気象は大変ですが、消費者との繋がりを糧にして一歩、一歩、明るい未来に向けて共に歩んで行きましょう。(上村一樹)

■白州森と水の里センター

昨年は、夏、秋の長雨、日照不足、早い冬の到来で、厳しい年となりました。失敗や願った結果がでなかったこともたくさんありました。異常気象が毎年のように続く中、地域の高齢化、獣害は進む一方です。私たちの産地では20代から80代までの混成チームで力を合わせてやってきました。高齢化、少子化、獣害、人手不足、それらは白州だけに起きていることではないことを肝に銘じ、今年も、元気に明るくいきたいです。食べる人も作る人も元気になるような農業をしていきたいです。昨年よりも多くの野菜をお届けできるよう力を合わせていきます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。(高草木里香)

■茨城 BM

新春のお慶び申し上げます。貴生協やさいBOXから、多くの食に関する情報を頂き生産者一同生産意欲を日頃からたかめています。しかし近年当地方の農業も大きく変貌し、他産業に就職する若者が100%となり、担い手不足で深刻に成っている中、中高年生産者が多く、今後の対策が必須と成っている。当生産者も経営の一部転換が想定できるので、今迄の大量生産から品質重視方へ移行する為、栽培技術の難問である土壌のミネラル類検査や、有機物の発酵堆肥の作り方や土壌センチュウの絶滅を目指す太陽光エネルギーの活用、また沸騰水での殺菌方法等の機械開発に取り組む為計画中です。農業生産に不可欠な水も今、動植物に適した水質確保も難しく天然水や地下水にも化学物質の一部が検出されることもある。これらの調査研究に大学との共同研究を行う事に成りました。～(以下中略)～担い手不足の産地と安心安全を求める消費者の考えがひらかない内に、安定生産供給が出来ますようにBOXの更なる発展を祈願いたします。(清水澄)

やさいBOXは、「栽培期間中は無農薬、無化学肥料で作られた野菜」のおまかせセットです。産地の旬に合わせた野菜をお届けしています。